

広報広聴常任委員会会議録

- 1 日 時 令和元年7月25日(木)
10時00分開会 11時18分開会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：佐藤幸一 副委員長：深沼達生
委員：川上 均、山下清美、中河つる子、中島里司
議長：加来良明
- 4 事務局 局長：山本 司、次長：宇都宮学、係長：鴫田瑞恵
- 5 説明員 なし
- 6 議 件

(1) 議会だより第158号の発行について
(2) 道内行政視察について
(3) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

(1) 議会だより第158号の発行について

委員長(佐藤幸一): 広報広聴常任委員会を開催する。

議会だより第158号発行について、皆様の意見を聞き進めていく。紙面構成・内容について事務局より説明願う。

鶴田係長: (配付の議会だよりしみず第158号案に基づき説明)

委員長: 紙面を一読するため休憩する。

【休憩 10:16】

【再開 10:23】

委員長: 再開する。

事務局の説明に何か意見あるか。

川上委員: 2ページの30人学級の意見書について、意見書の文面を黒で囲うと見やすいかと思うがどうか。

委員長: 枠をつけた方がいいとの意見についてよいか。

(よいとの声あり)

委員長: そのように願う。

ほかに何かあるか。

中河委員: 4ページ、介護保険条例の一部改正について、表にしたので見やすくとてもいいと思う。

委員長: 何かほかにあるか。

深沼委員: 3ページ、プレミアム付き商品券について、「地域の幅広い店舗」とは、どこでもできるということなのか。戸惑う方もいるのでは。

鶴田係長: 商工会に委託するものではないので、町としてはどこの店舗でも使いたいが、国の補助要綱が確定してなく、確認をするという答弁で終わっていた。

深沼委員: 詳しく説明があればいいと思う。

川上委員: 詳細については、使用できる店舗は未定と注釈を入れてもらいたい。

中河委員: プレミアム付き商品券について、「小さな乳幼児のいる子育て世代」という部分についても、分かりづらいかと。

中島委員: 今まで町が発行していたプレミアム付き商品券との内容が違う。全額、国の補助で実施すると認識している。どこまで使えるということは、要綱の中で決まってくると聞いている。この時点は町で要綱を作って明確にするということを言っている。注釈としてその程度しかここでは書けないと思う。今の時点では具体的に検討されたと聞いているが、それをここで掲載するのはどうかと。ただ、今までのプレミアム付き商品券とは違うという認識は改めて持ったが、その辺をどう分かりやすく伝えるのか。

山本局長: 現時点で明確になっている部分のみ、整理し誤解のないように記載する。

委員長: よろしいか。他にかあるか。

(ないとの声あり)

委員長: ないとのことなので、議会だよりについてはこのとおり進めていく。

(2) 道内行政視察について

委員長: 道内行政視察の必要性について、皆さんからの意見を聞きたい。

深沼委員: この視察は2年に一度行くということなのか。

宇都宮次長: 必ず行くというものではないが、予算措置としては、管外・道内の研修については、毎年1泊の予算措置は行っている。

川上委員: この委員会の中に新人議員4名がおり初めてなので勉強させていただきたい。前回は提案させていたいただいたが、できれば今この場で検討していただいて早い時期に実施したいがどうか。

委員長: 行くものなのか、行かないものなのか協議する。

山下委員: 3月からスタートしてから2号まで発行が進んでいる中で、新人議員は手探り状態でやっている。

前の委員は視察に行きどういう取り組みをしているのかを伺ってきている。議会広報における議員の取り組みについて直接聞いてみたい部分はある。日程的な部分もあるので調整しながらになるが、中河委員：8月20日に札幌市で広報研修会がある。今新しい取り組みに慣れていくの一杯であり、ほかの町村の取り組みを見てという段階になっていない。8月20日の研修会を受けるので、1泊でなくて管内でもし参考になるものがあれば見せてもらうということで。新しいことを取り入れるよりも現状を充実させることに時間を割きたいという感じがしている。

中島委員：所管事務調査として関係町村を見に行くのと、道議長会の研修は同じ研修でも意味合いがそれぞれ違うので、委員長として内容を説明していただきたい。

委員長：道議長会の研修会では一般的に広報のやり方を教えてもらった。行政視察はそれぞれの町村のやり方を視察した。詳細については今手元に資料がないので機会を作って皆さんにお伝える。

中島委員：今回議題となっている道内行政視察というのは、当委員会の所管事務調査のことを指している。道議長会の研修会とは意味合いが違う。それを一緒にくたに捉えると、道議長会の研修会があるので、わざわざ行政視察には行かなくてもよいのではという疑問が出てくるのは当たり前のこと。それはまったく別物であることをお話ししなければと思う。中河委員から管内という話をしていたが、議会だよりは道内で競い合いをしていると捉えている。だから全道の研修会ではクリニックを受けた町村の議会だよりについてプロから説明してくれる。全道一円の中から学びとってくるもの。所管事務調査は清水町の委員会がどういう形で紙面を作っていくのかという勉強の場。町村に伺うのは、担当者から生の意見を直接聞ける。研修でもその意味合いが違う。いろいろ視察研修へ行ったが、担当の方から直接話を聞き、意見交換をするという方法はすごく勉強になった。広報広聴委員になったばかりなので、広範囲の中で積極的に学びとる意欲は持つべきだと思う。私自身は、広報広聴委員としては幅広い知識を持ってしかるべきだと思う。日程もあるが、役目としてより研鑽を深めていくべきかどうかという判断をすべきだと思う。

委員長：道内行政視察については大事であるという意見をいただいた。日程的に難しいと思うが調整しながら皆さんにもう一度お諮りをしたいが、意見はあるか。

山下委員：繰り返しになるが、実際にどういうふうに行っているのかについて直接聞いてみたいという部分がある。場所については前回の委員会で、川上委員が言われた場所もあるし、管内にも一生懸命議員が携わっているところがある。場所については再検討しながら広報広聴常任委員会としての視察調査を進めていただければと思う。

委員長：広報広聴常任委員会として行政視察は大事なものだから、実施したいという意見をいただいた。多くの委員がそういう意見だと思うので取り組んでいきたいと思うが、日程については相手方のこともあると思うので、こちらにお任せをしてもらってもよろしいか。

川上委員：場所については再度決めるということか。

委員長：そう。

中島委員：相手方もあるので、調整して日程を協議していかなければならない。まずは行くかいかないかとおおよその時期を決めてはどうか。

委員長：行くかどうか決めてほしいという意見があったが、皆さんはどうか。

山下委員：前回、川上委員から提案のあった中標津町、大空町でよいのではないか。

委員長：中標津町と大空町の議会だよりの内容は皆さん分かっているのか。

鶴田係長：中標津町と大空町の議会だよりを用意したので、回覧する。

委員長：休憩する。

【休憩 10:54】

【再開 10:58】

委員長：再開する。

日程は1泊2日の日程で用意している。視察に際しては、具体的な質問等考えていきたいと思う。皆さんの意見を聞きたい。

中河委員：議会だよりは去年よりとてもいい物になったと感じている。更に上を目指すためにも道内視察研修をしたほうが良いという考えに変えたい。

委員長：視察研修に行くことに決めてよいか。

(はいの声あり)

委員長：場所、視察目的を皆さんに聞きたい。

川上委員：目的は、紙面の作り方も大事ですが、内容充実をさせるためも含めて、どういう活動や苦勞をしているか、実際の生の声を聞きたい。

中島委員：視察研修等については、結果を無駄にしなければ、積極的に行動すべきと思う。今私たちが2号目を発行するのに当たって、写真と町民の声を取り入れるとう部分を考える必要がある。委員会としての研修の主たる目的をここで協議をして、その後事務局に調査してもらって、正副委員長と協議した上で次回の委員会に諮ってもらいたい。

委員長：事務局と相談をしながら、委員長、副委員長でまとめて皆さんに提案したいと思うがよろしいか。
(よいとの声あり)

加来議長：今視察研修を行うことで了承した。日程的に9月定例会までに報告書をあげることができるのかできないのか、また、相手があることなので9月定例会後に実施することも含めて、委員長、副委員長で今後進めているか、皆さんに了承いただいたほうがよいのでは。

委員長：実施は9月以降になってもよいか。
(よいとの声あり)

委員長：そのように進めていく。
視察研修の件ではほかに何かあるのか。

中島委員：9月以降になると、ほかの常任委員会の視察調査も入ってくるかもしれないのでそれを踏まえて日程調整をしていただきたい。

委員長：事務局として日程確保は可能か。

事務局：ほかの常任委員会で管外視察の予定は今のところ入っていない。相手側の都合もあるので、8月末までか、10月1日以降に日程になる。

加来議長：9月前になるのかそれ以降になるのか確認したほうがいいのでは。

委員長：9月以前は無理だと思うので、9月以降で進めていくことでよいか。

川上委員：相手方もいるが10月以降でいいのでは。

委員長：そういった方向で進めてもよいか。
(よいとの声あり)

委員長：事務局と相談をしながら、正副委員長で進めていきたい。

(3) その他

委員長：その他で何かあるか。
(なしの声あり)

委員長：次回の委員会に日程を決めたい。事務局案はあるのか。

鶴田係長：最終校正になるが、8月7日(水)の午後からはいかがか。

委員長：14時からでよいか。
(よいとの声あり)

委員長：今回は8月7日(水)14時からの実施とする。
これで広報広聴常任委員会終わる。